

外 国 文 献 抄 録

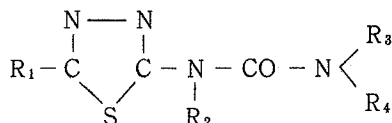
1, 3, 4-チアジアゾール-2-イル尿素系除草剤

R₃ : CH₃

R₄ : H

尿素系の除草剤の種類は多い。本誌第13巻第8号末尾において、1-(5-hexylthio-1,3,4-thiadiazole-2-yl)-1,3-dimethyl urea が、水生雑草に有効である旨を述べた。

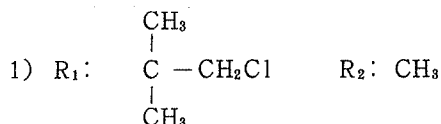
この化合物の骨格



の部分、1,3,4-thiadiazol-2-yl urea という。

今回は、特許資料の中から、この系統の化合物を選び出してみたい。特許資料のことであるから、その請求範囲は広い。しかし、すべてが実用になるわけではない。ここでは、特許管理的な面は省略し技術的内容を並べつらねていく。

R₁, R₂, R₃, R₄としたけれども、以下のように代表として述べたものは、ほとんど R₂: CH₃, R₃: CH₃, R₄: H ということになった。特許請求の範囲には、類縁の基が含まれているのである。効果は、温室内試験のデータの場合が多い。



10 a 当り 112 g (2.5 ポンドに相当するであろう) にて、パレンシアオレンジ畑のフタバムグラ属、サツマイモ属の雑草に有効である。R₁には、類縁の基が指定されている。

2) 尿素系の混合剤もある。

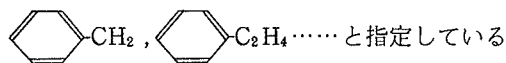
thiadiazolyl urea の代表は, tebuthiuron (下記参照) であり、相手の phenyl urea の代表は, diuron。それぞれ 10 a 当り 75 g と 19 g (ほぼ 4 : 1) の割合に混合した剤がソルゴーに有効である。

3) R₁: -SCH₂CH₂CH₂CH₂CH₂CH₃

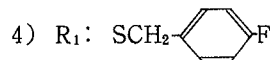
R₂: CH₃ R₃: CH₃ R₄: H

室内試験によると、その 1 ppm 水溶液は、カナダモ属・マツモ属・アオウキクサ属・イバラモ属・フサモ属・ハゴロモ属の雑草に有効である。

R₁ を RS(O)_n- と定め、n=0~2, R は、CH₃, C₂H₅……, C₃~C₇ の炭素環、



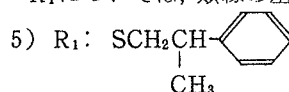
ので範囲はかなり広い。



R₂: CH₃ R₃: CH₃ R₄: H

大豆畑にて 10 a 当り 7 g で、シロザ・タデ・チョウセンアサガオに有効である。

R₁ については、類縁の基が指示されている。



- phenyl-ethylthio)-1,3,4-thiadiazol-
2-yl] urea と呼ぶ。

Chemical Abstracts.

88, 89 巻(1978). 90 巻(1979) より。

【お知らせ】

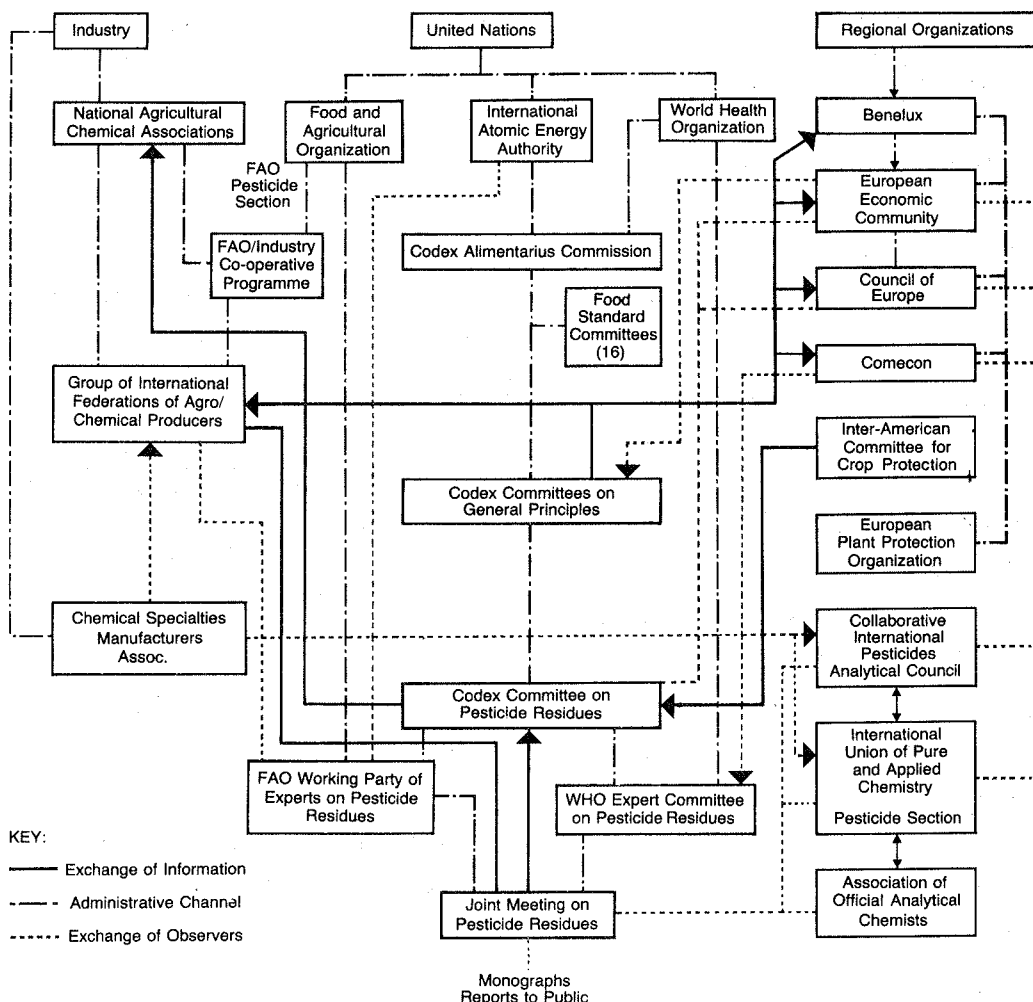
本誌第14巻第1号の抄録「農薬残留分析実施上の良き慣行(案)」について、本年の会議に出席した農薬検査所中村課長(現部長)から、つぎのような連絡がありました。

「本文案が codex guideline に格上げされる段階では、文字通り逐条審議が行なわれ、文章の体裁から前置詞の使い方まで吟味されている。その結果、見出しにはそれぞれ番号を打

ち、一部の文の入れ換えや用語の修正が行なわれているが、全体としては分かり易くするための補足が目立っている。」

なお、Codex Committee on Pesticide Residues (CCPR と略称する) の位置を「Outlook on agriculture 10, (3) 130. 1979」より引用して下に示しておきました。

(鈴木照磨)



Organization chart showing the position of the Codex Alimentarius Commission in relation to various international agencies (FAO/WHO 1976).